

…世界のことばと出会おう…

多言語で味わう＜25の音＞

ねらい：①ふだんの生活の中でふれる言語の種類は、個人・地域によって違いはあるにせよ、それほど多くはない。またその種類も、英語、韓国語などある程度限られている。しかし、世界には（日本も含めて）実に多様な言語が存在する。そうした言語の音を聴き、聴覚を通し、感覚的に言語の多様性を理解する。

②ここでは、聴いたことのない言語も、母語話者の少ない言語、危機言語も出てくる。言語が多様である、ということは、人間にとって、文化にとって、社会にとって、どのような意味を持つのかを考えるきっかけにする。

対象： 中学生以上

所要時間： 45分～

準備： 教材の音声データを聴けるよう準備。（ダウンロードする）

ワークシートを配布。

- 進め方：1 いくつかの言語を流し、感じたことを各自ワークシートに記入する。その際、言語名を明かさずに流してもよいし、言語名を明かしてから流してもよい。
- 2 グループでワークシートの結果をシェアする。
- 3 25の音のどこかのタイミングで、「生きる」（日本語版）の朗読を行う。
- 4 言語名を明かさなかった場合は、言語名を紹介する。なお、話者数のデータは、次の表1を参考にする。
- 5 作業全体を通して気づいたこと、感じたことが何かあれば、ワークシートに記入させる。

「生きる」は、今から 40 年以上前に書かれた詩です。作者の谷川俊太郎は 80 歳を超えた今も、多くの詩を発表し、人々を魅了しつづけています（2013 年現在）。「生きる」は、2011 年の東日本大震災以降、人々に多く読み直された詩のひとつでもあります。

留意点： あてること、正解することを目指す学習ではない。学習者は詩の内容を想像したり、国や地域を想像するため、学習者の回答が正答・正解でなくても、豊かな想像力、独創性と捉えたい。

発展1 多くの知らない言語に触れた学習者の感想から、次のような発問をすることができるだろう。

- ① 意味のわからない言語にであったとき、どんな気持ちになりますか？
- ② あなたは生活のなかで、意味のわからない言語に出会うことがありますか？ 出会うとしたら、それは、どんなときに、どんな場所で、出会いますか？
- ③ あなた以外の人で、たとえばどんな人が、意味のわからない言語に出会っていると思いますか？
- ④ 人間にとって、言語を類推する能力は、どこからくるのでしょうか？口・舌・のどなど、発声・発音器官は同じなのに、どうして人類にこのような言語のヴァリエーションが生まれたのでしょうか。
- ⑤ 音楽と言語には、深いかかわりがあるようです。今回聞いた言語と関係のある地域の音楽には、どのようなものがあるのでしょうか？ 伝統音楽、ポップス、ラップなどはあるのでしょうか？

発展2： この教材は、言語のもつ「音」の多様性を感じてもらうことをねらいとしているが、教材が「詩」であることをふまえ、詩についての学びに発展させることができる。たとえば、次のような発問をし、グループや教室内でシェアすることができる。

- ① 「あなたが誰かに紹介したい詩」があれば、ぜひ教えてください。
- ② (もしここが、日本語学校や地域の日本語教室で、多国籍な場であれば) あなたの国に、国を代表する詩人はいますか？ それは誰ですか？ あるいはお気に入りの詩があれば、ぜひ教えてください。
- ③ 日本の近隣諸国をはじめ、外国の詩や詩人について、知っていることはありますか？ (詩人の名前、詩のリズムやきまりごと、テーマなど)。(発問のねらいは、知っているかどうかと問われたとき、隣国の現代詩や詩人について、多くの場合、ほとんど知らない、ということに気づくことにある)

＜資料＞表1 取り扱い言語名と地域およびおおよその話者数（注1）

言語名	データ提供者 にとって母語 ／非母語	読み手の出身地または主に 話されている地域	世界での 母語話者数 (万人)	備考
アイヌ語	非母語	北海道	＊ ＊ ＊	注2
サハ語	母語	サハ共和国	45	注3
チベット語	母語	インド北部	117	
台湾語	母語	台湾	165	
モンゴル語	母語	モンゴル	500	
ハンガリー語	母語	ハンガリー	1200	
ギリシャ語	母語	ギリシャ	1300	
シンハラ語	母語	スリランカ	1500	
英語（オーストラリア）	母語	オーストラリア	1500	（オーストラリアのみの数字）
タイ語	母語	タイ	2000	
ウズベク語	母語	ウズベキスタン	2100	
インドネシア語	母語	インドネシア	2300	
タガログ語	母語	フィリピン	2400	
ミャンマー語	母語	ミャンマー	3200	
トルコ語	非母語	トルコ	5000	
韓国語	母語	韓国	6600	（韓国のみの数字）
ベトナム語	母語	ベトナム	6700	
フランス語	母語	フランス	6800	
＊参考 日本語	＊	日本	12200	
ロシア語	母語	ロシア	16200	
ポルトガル語	母語	ポルトガル、ブラジルなど	20200	
英語（アメリカ）	母語	アメリカなど	33500	
スペイン語	母語	スペイン／南米など	40600	
中国語	母語	中国	119700	

注1 話者数はオンライン版エスノローグ（<http://www.ethnologue.com>）をもとに作成。（2013 年）

注2 ユネスコの定める危機言語。2007年で母語話者10人。ただしセカンドランゲージとして学習されている。

注3 サハ共和国は、1月の平均気温はマイナス50℃になる地域もある、ロシア連邦の共和国のひとつ。